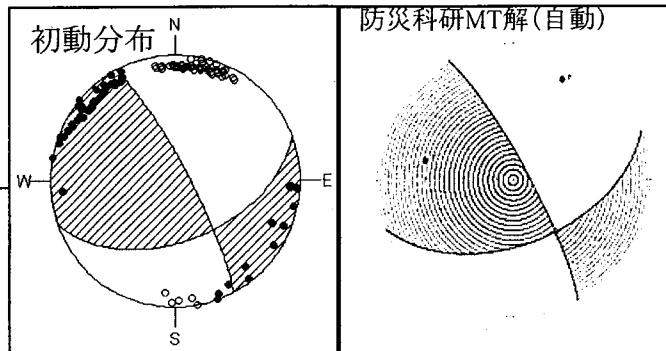


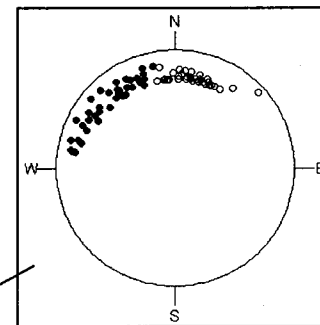
北側に起きている地震活動のメカニズムについて

前震(M6.9)、本震(M7.4)のメカニズムは、CMT解などから南北圧縮の逆断層型と推定されている。

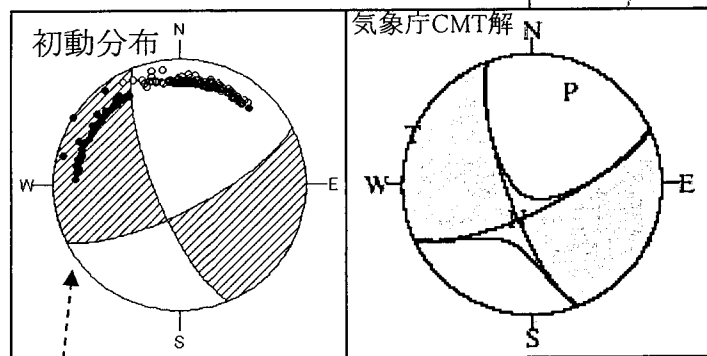
一方で、北側の領域(右下図の点線領域)で起きている地震活動については、気象庁、防災科研のモーメントテンソル解析などから横ずれ型の地震であることが推定される(①、②、③)。また、これらの地震の初動の押し引き分布もこれらのメカニズムと整合する。また、モーメントテンソルが決まっていない地震についても、④の例などで示されるように、横ずれ型に整合する。



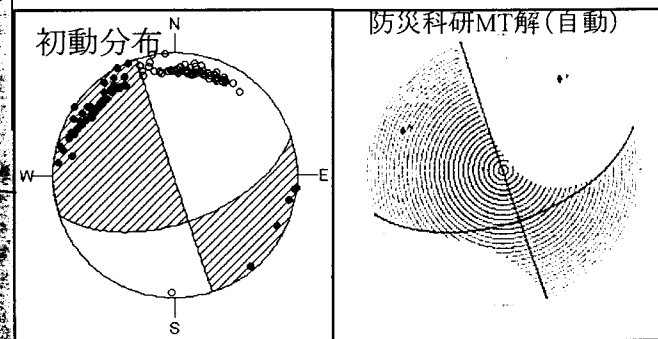
③ 9月6日15時54分 M4.6



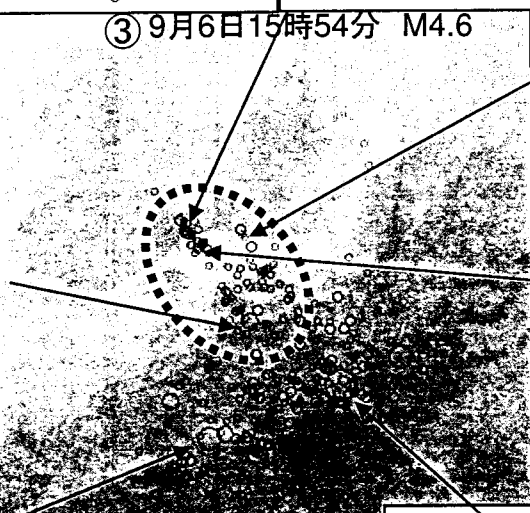
④ 9月6日4時57分 M3.6



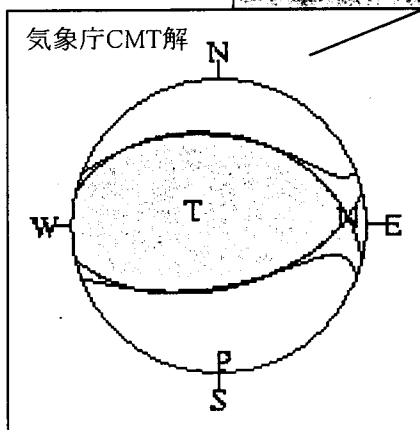
① 9月6日5時30分 M5.9



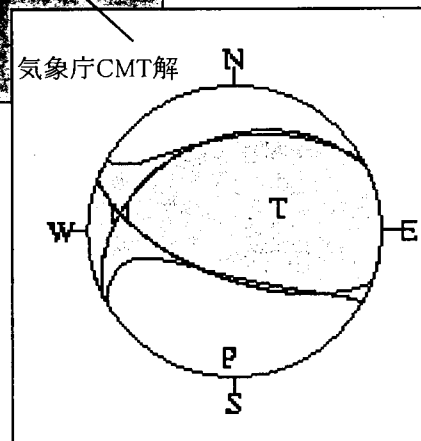
② 9月6日15時46分 M4.6



9月5日~9月7日の震央分布



9月5日19時7分 M6.9



9月5日23時57分 M7.4

また、横ずれ型のメカニズムの北北西-南南東走向の高角の断層の走向と、余震分布の配列が似ている。

※対応するMT解の節面を重ねて表示したもので、初動だけで決まったものではない。②、③も同様。